

2016年11月28日

高等教育キーパーソン各位

地域科学 KKJ セミナーニュース 439
学修アセスメントポリシーの構築と展開
～ 3 ポリシーの PDCA / 学修成果の可視化 / 成績判定 / 内部質保証～
ご参画・ご派遣のお願い

3 ポリシーに基づく教学運営の実践プロセスにおける“点検評価～改善サイクル”のためには、“学修アセスメントポリシー”の構築が必須となります。各大学におかれては、今年度中の策定・公表に向け、鋭意、ご精励のことと拝します。

私学事業団の 2014 年調査によれば、アセスメントポリシーを全学的に策定済みの大学は 6.9% となっております。本年 9 月の小会 KKJ 調査によれば、「必要なので、策定済み」30%、「必要なので、策定する」33%、「必要と思うが、策定しない」28% 等となっており、アセスメントポリシーの必要性の認識は知悉されています。

本セミナーでは、4 人のベスト講師による「学修アセスメントポリシー」の構築手法の論展と事例報告をいただきます。

濱名篤氏（関西国際大学）からは、全学・学位プログラムの構築と事例について論展いただきます。深堀聰子氏（国立教育政策研究所）からは、学修成果アセスメント活用によるカリキュラム設計と AHELO 等でのグローバル質保証を講義いただきます。清水一彦氏（山梨県立大学）からは、学修成果の可視化と学士力の評価・測定による内部質保証の深化について論展いただきます。半田智久氏（お茶の水大学）からは学修ポートフォリオによるプロセス&アウトカムズ評価とアセスメントポリシーについて講義いただきます。

ご多用の折とは存じますが、貴学のキーパーソン各位に、ぜひともこの機会にご参画・ご派遣を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、ご関心の各位にご転送・ご案内いただけましたら、幸いです。パンフレット版は、下記よりご覧いただけます。